



10月 ちとせだより

2023. 10. 1

幼保連携型認定こども園
神戸YMCAちとせ幼稚園

例年がない暑い夏を過ごし、9月に入ると少しは和らいでくれるかと思いきや、残暑の毎日でした。ようやく9月末頃から秋風を感じ始め、朝晩は涼しくなってきました。外で遊ぶことが心地よくなってくる秋の季節には、子どもたちは園庭でたくさん体を動かして走り回っている光景をよく見ます。

そんな時期に幼稚園では「運動会」という1つの行事があります。「運動会」と聞くと、1つの目標として位置づけられ、そのゴールに向けて良いパフォーマンスを発揮するために練習、訓練を繰り返し、練習の成果を保護者の方々に見てもらい、その立派な姿を評価してもらう。そんなイメージが強いかもしれませんが、しかし、YMCA幼稚園の「運動会」は、目標でもなく、子どもたちが、日頃から体を動かして遊んでいること、そして興味あることを「運動会」という1つの行事を通じて、ありのままの子どもたちを見ていただく機会の1つとして捉えています。ゴールではなく、通過点の1つです。よって、子どもたちには「運動会の練習をするよ!」とは言いません。パフォーマンスの向上を求めると、いずれ子どもたちは「やらされている」、「きちんとできないといけない」という思いの中、過ごしていくこととなります。運動ができる子は認められ、苦手な子は自分に自信をなくしていくことになりかねません。

年長児は、グラウンドを1周走るリレーを毎年行っていますが、まさに前述の視点で考えると足の速い子、遅い子という見方になってしまいます。1人1人持っている力を全部出し切れる子は、みんな足が速いのです。そんな一生懸命になれるお友だちがクラスに揃い、その中でどんな順番で走ったら良いか?みんなが、速く走れるためにはどんなことに気をつけたらいいか?毎回、クラスで子どもたちが主体となって意見を出し合い、話し合い、リレー遊びに夢中になっていきます。運動会当日の結果よりも、このような子どもたちが主体となって話し合い、考え、そしてそれを実行しながら、また繰り返していく過程が子どもたちを成長させ、そしてクラス一丸となっていく団結力が養われていくと思っています。

最近園庭では、年長児が中心となり、「リレーがしたい!」と言って、バトンやコーンなどを用意し、トラックを描いて欲しいと先生に頼み、すべて子どもたちが主体となって準備が進められていきます。先生たちは余計な言葉はかけず、じっと黙って様子を見ています。チーム分け、同じ人数に合わせる調整、アンカーがわかるようにタスキを用意、スタートの合図、そして結果発表まで、すべて子どもたちが役割を担って遊ぶことができている。そんな姿を遠目に見ながら、本当に走ることを楽しんでいるなど嬉しく思っています。

もちろん、年少児、年中児も様々な競技を手段として楽しみながら運動遊びに取り組んでいます。どうぞ、運動会当日をそのような視点で温かく見守っていただけると、子どもたちもより楽しんで、見て楽しい、やって楽しい1日を迎えられると信じています。

【年主題】

『ともにつむぎだす』～希望の中で～

【年主題聖句】

キリストはおいでになり、遠く離れているあなたがたにも、
また、近くにいる人々にも、平和の福音を告げ知らせられました。

(エフェソ信徒への手紙2章17節)

10月主題 「ふれあう」

聖句 「羊は一人の羊飼いに導かれ、一つの群れになる」

(ヨハネによる福音書10章16節)